Igreja de São João Baptista, Matriz de Tomar

について

写真: John Copland

サン・ジョアン・バティスタ、マトリス・デ・トマール教会（Igreja de São João Baptista, Matriz de Tomar）
トマールの中心地に位置するこのサン・ジョアン・バティスタ教会は、もともとは15世紀に建てられたものですが、16世紀に再建されています。1520年に、ドン・マヌエル（Dom Manuel）王がこの教会を供住聖職者教会に格上げしたことから、王の支援を受ける礼拝堂の1つとなりました。

サン・ジョアン・バティスタ教会は、托鉢修道会の教会をモデルとしていて、3つの身廊（外からもその形状がよくわかる）と左手に鐘楼を備えています。注目されるポイントは、マヌエル様式の入り口と、教会内部にある説教壇、グレゴリオ・ロペス（Gregório Lopes）による16世紀の数枚の絵画、そして壁面を覆う17世紀のひし形のアズレージョです。

トマールは、4年に1度行われるタブレイロスの祭（Festa dos Tabuleiros）の中心となる街です。これは、聖霊の集団によって行われていた中世の儀式を起源とする祭で、この街が大勢の観光客で最も賑わう行事の1つとなっています。

問い合わせ先

R. São João 135 Tomar 2300-592
电话： +351 249 312 611

バリアフリー案内
身体の不自由な方でもアクセス可能
入口へのバリアフリー経路
- 全部

バリアフリー入口
- 全部

建物内のバリアフリー通路
- 全部

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com